

The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

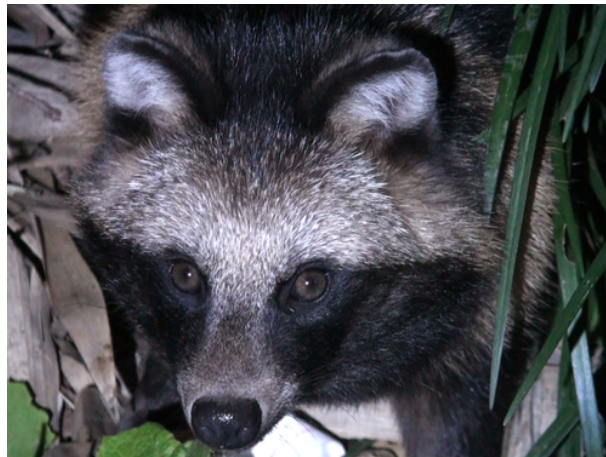
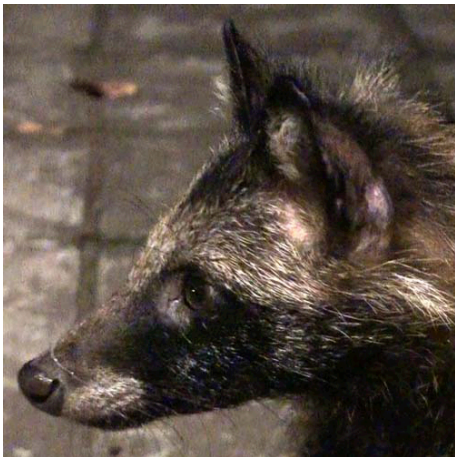
2011年10月号 通巻34号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2011

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

タヌキの鼻は低くない

どこからどう見てもタヌキはイヌ顔



(左)タヌキの横顔。2010年7月撮影。

(右)冬毛のタヌキの顔。冬毛では首から後方の毛が長くなるので、正面から見ると丸顔に見える。だが吻が短くなるわけではないので、やはりイヌ顔。顔の毛は冬毛でも長くはならない。2009年11月撮影。

イラストやマンガでのタヌキの絵というと、鼻が低い丸顔に描かれることがほとんどです。イヌのように鼻が長いタヌキの絵というのはめったにありません。しかし実際のタヌキの顔はどこからどう見ても鼻が長いのです。世の中には間違ったタヌキの図像があふれているのです。

ちなみに、「鼻」と書いていますが、眼から前方の鼻先までの部分は専門的には「吻」(ふん)と呼ばれています。

イヌの仲間は吻が長い

イヌ科の動物は吻が長いのが特徴です。オオカミもキツネも鼻が長いのはご存知の通り。タヌキもイヌ科に分類されますので吻は当然長いです。上の写真のように、まるでイヌのような、いや、イヌそのものの顔をしています。ネコは逆に吻がかなり短いです。「鼻がとがったネコ」なんてのは存在しないわけです。同じネコ科のライオンもトラもヒョウも吻は短いです。動物園に行った

り、テレビの動物番組を見る時には吻の長さに注目してみてください。

どうしてイラストになるとタヌキの鼻は低くなるのでしょうか？

「鼻が低い方がかわいく見える」という理由はあるでしょう。しかし、それでも鼻が低いイヌのイラストはありませんよね(パグのような鼻が低い品種は別として)。鼻が長いのがイヌの特徴ですから、それを表現しなければイヌには見えません。タヌキだって同じはずですが、それでもイラストのタヌキの鼻が低いのは「イラストレーターに観察力が無いため」だと言わざるをえません。ちゃんと本物を見て、資料を調べれば鼻が低いタヌキなんて描くことはできないはずなのです。

世間的には鼻が短い「間違ったタヌキ」ばかりが有名です。そのため、タヌキの本当の姿を知らない人も多いのではないかと、夜道でタヌキを見てもタヌキとわからない人がいるのではないかと心配です。目撃情報を集めている私にとってはこれは重大な問題です。

吻が短いイヌがいる?!

「イヌは吻が長い」というのは真実ですが、吻が極端に短いイヌというのも存在します。皆さんも見たことがあるはずです。パグ、ブルドッグ、ボストン・テリア、チン(狍)、チャウチャウなどなどです。これらの品種のイヌも元をたどれば吻が長い普通のイヌでした。人間による長年の品種改良の結果、吻が短く短くなっていったのです。長い吻を失ったこれらの品種は「イヌらしくないイヌ」なのです。むしろ「タヌキの方がイヌよりもイヌらしい顔をしている」と言っていいいでしょう。

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

東京都および周辺地域のタヌキ情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>